

Requested Patent: JP3191902A

Title: PRODUCTION METHOD OF INTERMEDIATE BOTTOM FOR SHOES ;

Abstracted Patent: JP3191902 ;

Publication Date: 1991-08-21 ;

Inventor(s): OTSUBO HIROFUMI; others: 01 ;

Applicant(s): ASAHI CORP ;

Application Number: JP19890333900 19891221 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: A43B13/38; A43B13/14 ;

Equivalents: JP1741821C, JP4031681B ;

ABSTRACT:

PURPOSE:To provide holes on a transparent plate which can be watched from a shoes bottom, by laminating the transparent plates with many holes vertically bored on the heel of an intermediate cushion bottom material and buffing the side of the intermediate bottom material and the transparent plate and further applying a transparent synthetic resin film with a smooth surface on the side of the transparent plate.

CONSTITUTION:An intermediate cushion bottom material 21 is made of a foamed rubber or a foamed synthetic resin like urethane as a single layer or multi- layers. A transparent plate 22 is made of a thermoplastic rubber combined with a hard thermosetting resin, a hard thermoplastic resin and a hard transparent material. The intermediate bottom 21 and the transparent plate 22 are superposed together with an adhesive or the like and the side 221 of the intermediate bottom materials is buffed with a grinder or others to be a same plane and then transparent synthetic resin paint such as acryl resin and polyurethane resin is applied on the side 221, on which fine protrusions and recesses are formed, to make a transparent synthetic resin film 3. The holes 220 perforated on the transparent plate 22 can be watched through the side of the shoes bottom to confirm a light shoes bottom.

⑫ 公開特許公報(A) 平3-191902

⑮ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)8月21日

A 43 B 13/38
13/14Z 6617-4F
Z 6617-4F

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 靴底用中間底の製造方法

⑯ 特 願 平1-333900

⑰ 出 願 平1(1989)12月21日

⑱ 発 明 者 大 坪 弘 文 福岡県久留米市藤山町1081

⑲ 発 明 者 塚 本 孝 二 福岡県柳川市有明町1-3

⑳ 出 願 人 株式会社アサヒコーポレーション 東京都中央区京橋1丁目10番1号

明 細 書

1. 発明の名称

靴底用中間底の製造方法

2. 特許請求の範囲

クッション性の中間底材21の踵部に、垂直方向に多数の穴220,220…を穿孔した透明板22を積層し、中間底材の側面211と透明板の側面221をバフ研磨して、同一平面に仕上げた後、透明板の側面221に表面平滑な透明合成樹脂皮膜3を塗布形成することを特徴とする靴底用中間底の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、靴底用中間底の製造方法に関するものである。

(従来の技術)

出願人は先に特願平1-30837号によって、クッション性の中間底の踵部に、中央部に切欠部を設けこの切欠部に衝撃吸収材を充填した透明合成樹脂板を積層し、靴底側面より衝撃

吸収材を透視できるようにした靴底を提案したが、この靴底の製造工程において中間底材と踵安定板を積層した後、中間底材と踵安定板の側面をバフ研磨して同一面に表面仕上げしていた。しかしながら、バフ研磨工程で安定板の側面に微細な凹凸が形成され、これらの微細な凹凸によって入射光線が乱反射され、踵安定板の透明性が低下され、踵安定板の切欠部に充填された衝撃吸収材に対する靴底側面からの透視効果が著しく低下される欠点があった。

(発明の解決しようとする問題点)

この発明は、透明板に穿孔された穴を靴底側面より明確に透視でき、その機能性を視覚的に確認できる中間底を簡単な方法によって提供しようとするものである。

(問題点を解決するための手段)

以下この発明の実施状態を示す図面によって説明すれば、この発明はクッション性の中間底材21の踵部に、垂直方向に多数の穴220,22

0…を穿孔した透明板22を積層し、中間底材の側面211と透明板の側面221をバフ研磨して、同一平面に仕上げた後、透明板の側面221に表面平滑な透明合成樹脂皮膜3を塗布形成することを特徴とする靴底用中間底の製造方法を発明の要旨とするものである。

この発明において、クッション性の中間底材21は通常のゴム発泡体、ウレタン、EVA等の合成樹脂発泡体で構成され、そしてクッション性の中間底材21は単一の層で形成してもよいしウエッジソール21'、ミッドソール21''等の複數層で形成されてもよい。

この発明において、透明板22としてはその目的に応じて材質的に種々のものが使用されるが、着用の際、靴底の踵部に安定性と軽量化を付与するものであれば、エポキシ系、ポリエステル系、メラミン系、フェノール系、ジアリルフタレート系、ポリウレタン系等の硬質な熱硬化性樹脂、ポリオレフィン系、ポリビニル系、ポリカーボネート系、アクリル系等

の硬質な熱可塑性樹脂、1,2ポリブタジエンゴム、スチレン・ブタジエンブロック共重合体等の透明硬質配合の熱可塑性ゴムで構成される。この場合透明板22に穿孔された穴220、220…は、着用時に衝撃圧が負荷されても透明板22が硬質であるため、穴220、220…は圧縮変形されない。また透明板22が着用の際、靴底の踵部に衝撃吸収性と軽量化を付与するものであれば、天然ゴム、合成ゴム等の透明軟質配合のゴム、塩化ビニル樹脂、塩化ビニルエチレン共重合体樹脂、塩化ビニル酢酸ビニル共重合体樹脂、エチレン酢酸ビニル共重合体樹脂、1,2ポリブタジエン樹脂、ポリウレタン等の透明軟質配合の合成樹脂で構成すれば、垂直方向に穿孔された多數の穴220、220…が着用時に衝撃圧によって圧縮変形されて、衝撃圧が緩和吸収されることになる。穴220、220…の垂直方向における断面形状は、多角形状、円形状、楕円形状等適宜に形成されている。

この発明において、中間底材21と透明板22は、接着剤等によって積層された後、積層された中間底材の側面221をグラインダ等によってバフ研磨して同一平面に仕上げた後、バフ研磨によって微細な凹凸が形成された透明合成樹脂またはゴム板の側面221に、アクリル系、ポリウレタン系、ポリアセタール系等の透明合成樹脂塗料をスプレー、ローラー、刷毛等で塗布して透明合成樹脂皮膜3を形成し、皮膜3によって透明板の側面221が平滑面に表面仕上げされる。

(発明の効果)

この発明は以上のように、バフ研磨された透明板の側面211に、表面平滑な透明合成樹脂皮膜3が塗布形成されているので、従来のように透明板の側面にバフ研磨によって形成された微細な凹凸によって入射光線が乱反射されることがなく、透明板22に穿孔された穴220、220…を、その側面211、即ち靴底側面を通して明確に透視できる。従って、透明板22が

例えば硬質材である場合は、着用時における穴220、220…の非圧縮変形性によって靴底の踵安定性と穴220、220…自体による靴底の軽減性が確認でき、また透明板22が例えば軟質材である場合は、着用時における穴220、220…の圧縮変形性による衝撃吸収性と穴220、220…自体による靴底の軽減性が確認できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明の製造方法によって製造される靴底用中間底の要部断面図であり、第2図はその組立見取り図である。

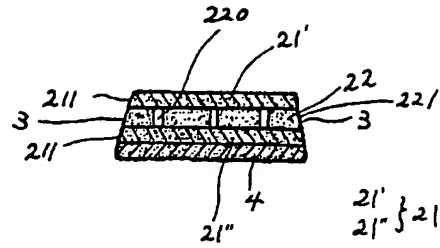
符号の説明

21, 中間底材	21', ウエッジソール
21'', ミッドソール	211, 中間底の側面
22, 透明板	220…穴
221, 透明板の側面	3, 透明合成樹脂皮膜
4, 外底	

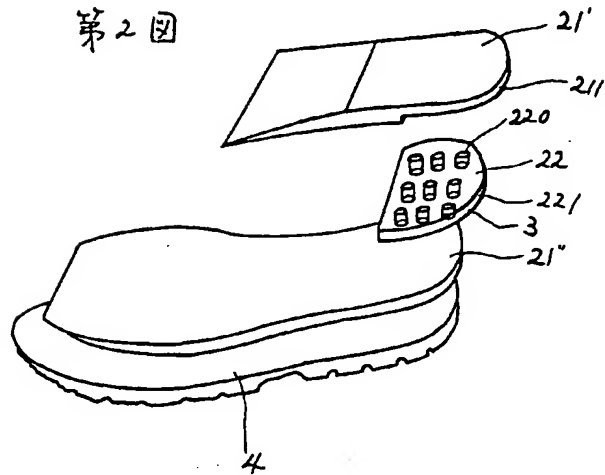
特許出願人の名称

株式会社アサヒコーポレーション

第1圖



第2圖



BEST AVAILABLE COPY